

第Ⅳ期 第8回 国立天文台科学戦略委員会議事抄録

日時：2025年5月16日（金） 13時00分～13時30分

場所：国立天文台大会議室、Zoom

出席者：

（台外）秋山正幸委員（Zoom）、高橋慶太郎委員、濤崎智佳委員（Zoom）、戸谷友則委員（Zoom）、渡邊誠一郎委員（Zoom）

（台内）井口聖委員（Zoom）、生駒大洋委員、齋藤正雄委員、都丸隆行委員（Zoom）、竝木則行委員、藤井友香委員（副委員長）、本原顕太郎委員（委員長）、吉田道利委員（Zoom）

欠席者：

（台外）石原安野委員、高田昌広委員、堀田英之委員

陪席：

（台外）運営会議：河野孝太郎委員、住貴宏委員（Zoom）

（台内）土居守台長、玉井英司事務部長、堀久仁子特任専門員、金子修研究推進課長、大内香織研究支援係長

1. 確認

1.1 国立天文台科学戦略委員会名簿および出席者確認

本原委員長から、出席者の確認を行った。

1.2 第7回議事抄録の確認

本原委員長から、4月18日に開催された第7回国立天文台科学戦略委員会の議事抄録（案）について説明があり、承認された。

2. 報告と議論

2.1 実施計画のスケジュールについて

齋藤委員（副台長）から、国立天文台執行部で検討中の国立天文台の将来計画策定までの全体スケジュール案について説明があった。その中で、前回の本委員会で7～8月に開催するとしたタウンミーティングについて、内容を運営会議に確認するため、9月下旬の開催に変更するとの報告があった。

2.2 SRM・実施計画策定説明会の開催日程について

齋藤委員（副台長）から、実施計画策定の今後の進め方、およびコミュニティ向け説明会の実施方針について説明があった。その中で、サイエンスロードマップ（以下「SRM」）に関するコミュニティとの意見交換を実施計画のタウンミーティングと併せて開催することが提案され、承認された。次回の本委員会またはSRM委員会で資料内容等の案を提示し議論することとした。

（主な意見交換）

－説明会に全員が参加するわけではないため、コミュニティとの対話は何度もやるのが大

事。継続して行っていくことが大事である。

ーまとめて開催するのは良いが、同じ重みで説明すると聞いているほうは混乱する。まずは **SRM** に重きを置き、実施計画はさらりとメリハリを付けて説明するべき。

2.3 2025 年度将来シンポジウムの日程及び実施計画について

本原委員長から、2025 年度将来シンポジウムの開催案について説明があり、12 月 1 日～12 月 4 日を開催候補日とすること、及び LOC の構成員を昨年度と同様とすることが承認された。

また、国立天文台執行部と本委員会の委員長、副委員長でプログラムの素案を作成し、本委員会で確認のうえコミュニティにアナウンスすることとした。

(主な意見交換)

ー今回の将来シンポジウムでは **SRM** ドラフト版を説明し、2026 年に最終版が公開されると考えていたが、そのスケジュールでは間に合わないのか。機構のサイクルに合わせる必要があるのか。

ー2026 年度末に実施計画を策定できていないと、機構の次期中期目標・中期計画のスケジュールに間に合わない。中期目標・中期計画では、国立天文台の全てのプロジェクトについて目標を立てるわけではない。それを踏まえ、影響のある部分と影響のない部分を見極めて、策定することになる。

以上